



おかげさまで第一生命は、2012年9月に
創立110周年を迎えます。

2012年5月30日

産業復興支援型の被災地支援ボランティア活動(第2弾)を実施

～ 気仙沼市・唐桑地区の養殖産業の事業再興を継続的に支援 ～

第一生命保険株式会社（社長：渡邊 光一郎）では、東日本大震災発生以降、被災地復旧に向けた職員の派遣や職員のボランティア活動参加への支援等を通じて、被災地支援に取り組んできました。

今回、昨年に引き続き、気仙沼市唐桑地区において、産業復興支援型の被災地支援ボランティア活動を実施します。

気仙沼市唐桑地区はカキやホタテ、ワカメの養殖業が盛んな地域であり、重要な収入源となっていますが、地震に伴う津波により養殖用のインフラが壊滅的な被害を受けました。カキやホタテは再開から出荷までに2年を要することから、養殖業関係者の皆さまの生活基盤を立て直すために、地域住民の皆さま・漁業組合・観光協会等により結成された「気仙沼市唐桑地区復興支援協同体」とともに、養殖業支援のボランティア活動に取り組みました。

被災地における産業復興には継続的な支援が必要との考えから、昨年に続き2度目となる被災地支援ボランティア活動を実施します。具体的には、被災された養殖漁業者の方々の指導のもとで、養殖用のいかだの補修やカキやホタテの種付け（ロープにカキやホタテの種を挟み、吊るす作業）等を行う予定です。

5月31日より4クールに渡って実施し、各クール20名程度を社内で公募のうえ、80名程度の職員が参加します。

「いちばん、人を考える会社になる。」という当社グループビジョンのもと、今後も地域社会貢献活動に積極的に取り組んでいきます。

<実施概要>

(1) 活動場所

宮城県気仙沼市唐桑地区

(2) 活動内容

地域住民・漁業組合・観光協会等が組成した「気仙沼市唐桑地区復興支援協団体」が受入先となって、養殖業関係者を支援するためのボランティア活動を行う。

具体的には、被災した養殖漁業者の指導のもとで、養殖用のいかだの補修やカキやホタテ等の種付け（ロープにカキやホタテ等の種を挟み、海中に吊るす作業）等、参加可能な活動を行う。

(3) 実施時期（予定）

①第1クール 5月31日（木）～6月 2日（土）

②第2クール 6月 7日（木）～6月 9日（土）

③第3クール 6月14日（木）～6月16日（土）

④第4クール 6月21日（木）～6月23日（土）

※各クール20名程度参加予定。

※会社が一部経費負担を行い、平日の活動日は通常の年次有給休暇とは別の特別有給休暇扱いとする。

(4) 前回の活動の様子



○カキの種をロープにはさむ様子



○種をはさんだロープを海に浮かべたいかだに吊るす

「気仙沼市唐桑地区復興支援協団体」オフィシャルサイトでの当社の活動紹介ページ

同サイトアドレス: http://www.karakuwa.jp/index.php?p=&d=blog&c=&type=article&art_id=45

以上